

# Q&A

## 地域と行政の対話の場

# 町政懇談会 2022

7月12日から町内4会場で開催し、延べ80人の方に参加いただいた町政懇談会。行政にとって地域の声を聴き対話する重要な場です。今月号は、町政懇談会であった質疑応答の中から主に町の施策や公共施設、暮らしに関する内容についてお知らせします。

※ 編集の都合上、実際の回答と一致しない場合があります  
※ 回答は町政懇談会時点のものです



### 町の施策・公共施設

**Q01** 出産準備支援金は、他市町村と比べて金額面はどうか。

**A** 出産準備支援金の10万円支給は、府内でも珍しい取り組みです。全国で同様の制度を設けている自治体の多くは、3から5万円までの範囲での支給となっています。

**Q02** ふるさと納税による増収と町民が他市町村へ寄付することによる減収との比較は。

**A** 決算の段階にならないとふるさと納税の税収比較はできないが、令和2年度までは歳入（収入）の方が多くなっています。

**Q11** この懇談会で個別の課題に対して回答をもらうことも大事だが、町政や町の未来について、お互いに共感しながら思いを共有しようという懇談をやってほしい。

**A** これまでの町政懇談会は、住民の皆さんからの指摘や質問を受けるケースが多かったが、共に未来を語り合うような場になっていくことも一つの方向性だと思っています。まちづくりについて、未来志向の議論が展開できるように工夫していきます。

### 暮らしに関する内容

**Q12** 自転車道の防犯灯について、算所あたりは真っ暗である。順番に設置される話だったと思うが、どのような状況か。

**A** 今年度は、三河内から南へ進んでいく予定と聞いています。毎年200mずつ9灯ほどつけても、算所から終点の滝まで設置されるには何年もかかるので、京都府にペースアップしていただくよう要望します。

**Q13** 除雪について、上手にできていないと感じている。また、府道と町道との役割分担も不十分に感じる。

**Q03** 配布資料に学校給食費の負担軽減として285万円とあるが、一人当たりになるといくらになるのか。

**A** 物価上昇分の4%を算出根拠としてしています。

**Q04** 町の施策を活用して移住された方が12世帯34人と言われたが、転出された方はどれくらいおられるのか。

**A** 転出を含め、毎年300から400人の人口減少が進んでいます。

**Q05** 人口が減り、予算も減っていく中で、人への投資が重要ではないか。特に子ども子育てへの投資が重要であり、与謝野町出身者をUターンさせることが大事だ。

**A** 子育て環境の充実が町の最重要課題で、最も重要なのは成人するまでの養育費の支援です。Uターンでは、町で育った子どもたちが自発的にこの町を選択する状況を作り上げることが重要です。そのため、小中学校のふるさと学習では、さまざまな地域の教材を使用しながら行っています。また、宮津天橋高校加悦谷学舎において、高校の魅力化事業を実施しており、Uターンにつながる成果が増えてきています。

**A** 除雪区域は、除雪路線図を作り業者を配置している。今後業者と調整を行います。京都府へも要望していきます。

**Q14** 阿蘇シーサイドパーク、山手線、橋立中学校前の歩道の除雪のタイミングを聞きたい。

**A** 歩道の除雪は町が行っており、他の道路と同じ基準で午前5時から出動しています。

**Q15** 地域が高齢化してくる中で一番大変なのは草刈りである。行政として草刈りなどをどのように考えているのか。

**A** 町が実施しているのは、町道と重要河川の部分で、その中でも主要な路線について、年に1回

**Q06** 町長の選挙マニフェストには野田川地域の認定こども園をのだがわこども園・山田保育所・石川保育所のいずれかの敷地で建設計画とあるが、敷地面積的に難しいのではないかと。

**A** 多くの保護者、子どもたちが楽しみにしておられると思うので、一刻も早く新しいこども園で保育・教育活動ができるよう進めていきます。

**Q07** 給食センター新設の検討が進んでいないと聞いたが、子どもたちのために建設に向けて進めてほしい。

**A** 令和4年度内に議会に方向性を提示できるように検討を進めており、今年度に基本設計、令和5年度に実施設計のスケジュールを予定しています。

**Q08** 庁舎や公共施設問題は重要だが、さまざまな意見や賛否があるが、稼働率などから統合を検討していくことが今の時代に沿うと思うが。

**A** 庁舎や公共施設については、最適化を図る必要があります。方法として複合化あるいは統廃合することだと思いますが、まずは統廃合できる環境を作っていくこと

行っているのが現状です。草刈りをどのようにしていくか、今後の課題とさせていただきます。

**Q16** 下水道受益者分担金はしっかりと徴収できているのか。

**A** 平成25年度に多額の下水道受益者分担金が時効を迎えることがあったが、それを機に取りこぼしがないように管理しています。

**Q17** 3カ所の投票所だけが午後6時で終了する具体的な理由は。また、これから人口が減少する中で23カ所の投票所が必要なのか。

**A** 川上・香河・奥滝の投票所が午後6時までとなっており、理由は有権者数等の加減だと思えます。現時点では投票所を減らしていく方向性になっていないが、期日前投票が浸透してきている中、京都府選挙管理委員会と検討を進めます。



### 質疑応答を公開中

町政懇談会のすべての質疑応答は町ホームページ（以下の二次元コード）、または企画財政課（本庁舎）をご覧ください。



企画財政課  
43-9015